

## 指導と評価の一体化を目指して 生活科

学習指導要領の総則では、「授業の改善」（指導）と「評価の改善」（評価）を一体的に充実させていくことの重要性が示されています。学習評価によって、「児童生徒にどういった力が身に付いたか」を的確に捉えて、教師は指導の改善を図ること、児童生徒は自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにすることが大切です。ここでは、1. 学習評価の進め方の手順、2. 評価規準の作成のポイント、3. 指導と評価の計画（例）を示します。

### 1. 学習評価の進め方の手順

- (1) 単元の目標を作成
  - (2) 単元の評価規準を作成
  - (3) 「指導と評価の計画」を作成
- 授業を行う**
- (4) 観点ごとに総括する

- 学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説等を踏まえて作成する。
- 児童の実態、前單元までの学習状況等を踏まえて作成する。

- 1、2を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画する。
- どのような評価資料（児童の反応やパフォーマンスなど）を基に、「おおむね満足できる」状況（B）と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況（C）への手立て等を考えたりする。

- 3に沿って観点別学習状況の評価を行い、児童の学習改善や教師の指導改善につなげる。

- 集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価（A、B、C）を行う。

### <生活科における内容のまとめ>

	「内容のまとめ」
学校、家庭及び地域の生活に関する内容	内容（1） 学校と生活
	内容（2） 家庭と生活
	内容（3） 地域と生活
身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容	内容（4） 公共物や公共施設の利用
	内容（5） 季節の変化と生活
	内容（6） 自然や物を使った遊び
	内容（7） 動植物の飼育・栽培
	内容（8） 生活や出来事の伝え合い
自分自身の生活や成長に関する内容	内容（9） 自分の成長

この「内容のまとめ」を踏まえて、以下の単元の特徴を大切に、単元計画を作成することが大切です。

- 児童が、身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現していく必然性のある学習活動で構成する。
- 具体的な活動や体験を行い、気づきを交流したり、活動を振り返ったりする中に、児童一人一人の思いや願いに沿った多様な学習活動が位置付く。
- 学習活動を行う中で、高まる児童の思いや願いに弾力的に対応する必要がある。
- それぞれの学校や地域の人々、社会及び自然に関する特性を把握し、そのよさや可能性を生かす。

## 2. 評価規準の作成のポイント

### (1) 知識・技能

「知識・技能」のうち、知識に関する評価規準(例)

- ・評価規準の構造を「〇〇に気付いている」、「〇〇が分かっている」などとして作成する。

「知識・技能」のうち、技能に関する評価規準(例)

- ・評価規準の構造を「△△において(の際)、〇〇している」などとして作成する。

### (2) 思考・判断・表現

「思考・判断・表現」に関する評価規準(例)

- ・評価規準の構造を「〇〇して(しながら)、△△している」などとして作成する。

### (3) 主体的に学習に取り組む態度

「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準(例)

- ・評価規準の構造を「〇〇し、△△しようとしている」などとして作成する。
- ・資質・能力を評価するに当たっては

- ① 「粘り強さ」・・・思いや願いの実現に向かおうとしていること
- ② 「学習の調整」・・・状況に応じて自ら働きかけようとしていること
- ③ 「実感や自信」・・・意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとすることを繰り返し、安定的に行おうとしていること

などを踏まえる必要がある。

## 3. 指導と評価の計画(例)

単元名 あきとあそぼう【内容のまとめり 第1学年 内容(5)「季節の変化と生活」内容(6)「自然や物を使った遊び」】 全17時間

小単元名 (時間)	学習活動	評価 規準	評価方法
1 あきのた からもの をみつけ よう(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭で秋見付けをする。</li> <li>・秋について知っていることや園で経験したことのある遊びなどを出し合う。</li> <li>・校庭や公園などで秋見付けを繰り返し行ったり、気付いたことを自分なりの方法で表現したりする。</li> </ul>	態① 思① 知① 思②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察、発言分析</li> <li>・発言分析</li> <li>・行動観察、発言分析</li> <li>・行動観察、発言分析</li> </ul>
2 あきのた からもの でつくって あそぼう (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の自然を利用して遊ぶ。</li> <li>・秋の自然や身近にある物を利用して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったり、作った物を使って遊んだりする。</li> </ul>	知② 思③ 思④ 態②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察、発言や振り返りの記述の分析</li> <li>・行動観察、発言や振り返りの記述の分析</li> <li>・行動観察、発言や表現物及び日記の分析</li> <li>・行動観察、発言や表現物及び日記の分析</li> </ul>
3 あきのた からもの でみんな であそぼ う(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきまつり」を聞いて、みんなで楽しく遊ぶ。</li> <li>・これまでの活動を振り返り、秋の思い出や秋の自然と自分との関わりなどについて、言葉や絵で表現したり、伝え合ったりする。</li> </ul>	知③ 知④ 態③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察、発言や振り返り及び表現物の分析</li> <li>・行動観察、発言や表現物及び日記の分析</li> </ul>